

国語表現Ⅱ
年間学習指導・評価計画表

年間学習指導・評価計画表

【備考1】表には実際に表現活動を行う教材のみ示した。このほかに適宜、活動に役立つ読

み教材（◆表現の翼2・3・4・7・8）が配してある。

【備考2】表内「評価の観点」は次のように略して示した。

：読む 関心・意欲・態度：関心 話す・聞く能力：話・聞 書く能力：書く 読む能力
知識・理解：知・理

教材名	5	活動のねらい	活動の大まかな流れ	評価の観点	評価規準	評価方法例
一身近なテーマで書く		・自分の身近な事柄を見つめ直すこと とで、自分自身を 理解する手がかり とし、書くことを 通して、自分の考 えを明確にし、他 者にわかるように 書く態度を身につ ける。 ・他の人からアドバ イスをした人、自分 分も他の人からアド バイスをもらって、 こと、文章や、考え ある文章や、考え	①身近なことから テーマを考える。 ②構成メモを作る。 ③構成を考え、文 章にまとめる。 ④他の人のアドバ イスを受け、推敲 し、清書する。 ⑤教室が目標した 学習活動の目標を もとに、相互評価 を行うとともに、 自己の活動を振り 返る。	関心 話・聞 知識・理	・身近なテーマを見 つけることができた か。 ・身近なテーマで文 章を書くことができ たか。 ・グループでアドバ イスし合うことがで きたか。	観察記録 話し合い中の 発言 作成資料 （構想メモカ ード、コメン トカード） 提出課題 （作文） 相互評価 自己評価

<p>◇表現の輪をひろげる²文章論理的な文章</p>	<p>三取材から発表へ</p>	
<p>4</p>	<p>6 ~ 8</p>	
<p>・論理的であるかどうかというところを、文章にまとめる。 ・発表資料を作り、口頭発表する。</p>	<p>・「取材」の手法を使って、自分の考えを「口頭発表」という形で表現する。 ・自分自身の問題として考えられることをテーマとして選び取る。 ・取材計画を立て、テーマに適した取材相手に取材する。 ・取材や話し合いを通して考えたことを、文章にまとめる。 ・発表資料を作り、口頭発表する。</p>	<p>・学習活動へのプロセスそのものを、生徒一人ひとり、自分の問題として受け止めて、意見を合せて、クラス全体が活性化することを指す。</p>
<p>①論理展開を支えている要素について理解する。</p>	<p>①ふだんの生活の中で気になっっていることを挙げ、グループで意見交換しながら、自分のテーマを決める。 ②テーマについて知りたいことを考え、取材相手を選び、取材計画を立てる。 ③取材メモをもとにグループで話し合い、自分の考えの骨子を文章にまとめる。 ④発表資料を作り、グループ内で発表し、相互評価、自己評価をする。</p>	<p>⑥他の人との交流を経て、深まった考えを文章にする。</p>
<p>関心</p>	<p>関心</p>	<p>関心</p>
<p>・論理展開を支える要素について理解し、自分の文章に活用できたか。</p>	<p>・取材や話し合いを通してテーマについて考えを深めることができたか。 ・問題点の指摘や意見を活動に反映できたか。 ・口頭発表では、自分の考えをわかりやすく伝えることができたか。</p>	<p>・テーマを自分のものとしてとらえることができたか。 ・取材では、じっくり話を聞くことができたか。 ・取材メモ、相互評価シート） ・発表資料、相互評価シート） ・提出課題（作文） ・口頭発表相互評価自己評価</p>
<p>観察記録 作成資料 提出課題</p>	<p>観察記録 話し合い中の発言 作成資料 （取材メモ、発表資料、相互評価シート） 提出課題（作文） 口頭発表相互評価自己評価</p>	<p>観察記録</p>

<p>四 体 験 か ら 物 語 へ 「 創 作 」</p>	<p>を 書 く</p>
<p>6</p>	
<p>・ 自分自身の体験をもとに物語を創作する。 ・ 物語の内容や主題にふさわしい語り手を設定したり、ストーリーを組み立てる。 ・ 物語を作ることを通して、自己理解を深める。 ・ 他の人と作品を相互鑑賞し合う。</p>	<p>・ 情報を正確に読みとったり、活用したりする方法（メディアリテラシー）について考える。 ・ 文章から得た情報の考えを文章にまとめる。 ・ 視覚資料の分析方法を理解し、自分の意見を持つ。 ・ 図書館やインターネットを利用して視覚資料をまとめる。</p>
<p>① 自分自身を振り返り、これまで大きく変わったところ、体験がないか考え、その体験を文章にまとめる。 ② 物語の構想を練る。 ③ 物語の下書きをし、グループで読み合い、チェックシートを交換し合 い、それを受けて</p>	<p>② 文章を読み、その旨をまとめる、その意図を論理的な文章に書く。 ③ メディアリテラシーの重要性を確認する。 ④ 情報の適切な読み方について理解する。 ⑤ 情報の適切な扱い方について理解する。</p>
<p>関 心 話 聞 書 知 理</p>	<p>書 く 読 む 知 理</p>
<p>・ 物語にふさわしい体験を探すことのできたか。 ・ 物語の内容や主題にふさわしい語り手を設定したり、ストーリーを組み立てる。 ・ 物語の叙述を工夫したり、物語にふさわしい題名をつける。 ・ 物語を作ることを通して、自分自身を</p>	<p>きる。 ・ メディアリテラシーの重要性を理解し、情報を活用できる。 ・ 得た情報をもとに、自分の考えをまとめることができる。</p>
<p>観 察 記 録 話 し 合 い 中 の 発 言 作 成 資 料 （ 構 想 メ モ ） 提 出 課 題 （ 作 文 ） 自 己 評 価 相 互 評 価</p>	<p>相 互 評 価 自 己 評 価</p>

	え合う姿勢を持つ。
己評 り、相 互評 価を する。	を考 え、 自 分 の 情 報 を 集 め て み る。 ④ 活 動 を 振 り 返 る。 ⑤ 模 擬 面 接 を す 記 入 す る。 ① 個 人 シ ー ト に
加 で き た か。	題 点 の 指 摘 や 意 見 を 聞 き、 そ れ ら を そ の 後 の 面 接 に 反 映 で き た か。 ・活 動 に 主 体 的 に 参